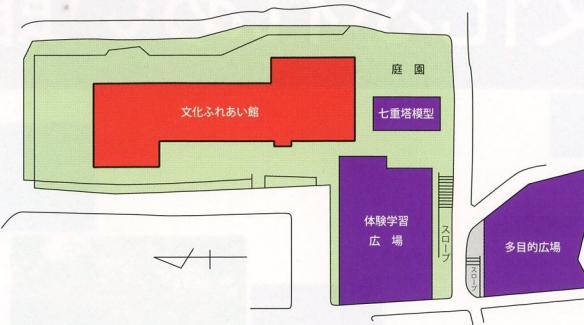
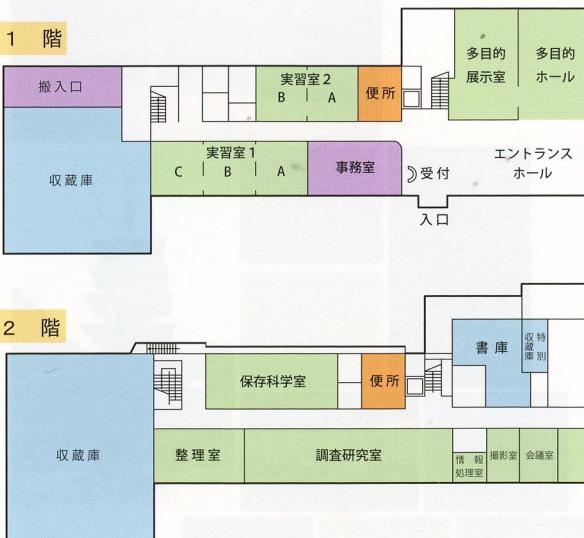


館内案内



平面図



屋外

奈良時代に建てられた筑前国分寺にあったと考えられる七重塔を10分の1の大きさで復原した模型や、宮ノ本遺跡・成屋形遺跡の発掘調査で検出された箱式石棺を移設・展示しています。



1階



エントランスホール

来館者の憩いの場となるよう設計された空間です。

太宰府の歴史を感じながらくつろぐことができます。



多目的展示室

「太宰府の歴史と文化」をテーマに、年間を通してさまざまな分野の企画・特別展を開催しています。



多目的ホール

作品展や講演会、シンポジウムなどに対応でき、使用目的に応じて、自由に区切ることができます。



実習室 1 A・B・C (3連結可能)

工作や料理、陶芸など多様な体験学習や実習に使用することができるよう設計された部屋です。



実習室 2 A・B (2連結可能)

学習を主体として設計されています。スクリーンも設置されており、各種研修会などにも利用できます。

■貸室対象施設■

施設名	規 模	主な目的	設 備	定 員
多目的ホール	220 m ²	研修会・講演会・絵画書道等の展示	スクリーン・椅子・可動ステージ	150名
実習室 1 A・B・C (3連結可)	171 m ²	調理実習・工作・染色等	コンロ・水道・椅子・可動作業台	各室 24名
実習室 2 A・B (2連結可)	108 m ²	フィルム上映・学校教育に関わる授業・講演会	視聴覚機材一式・長卓・椅子	各室 36名

※ 施設の予約状況の確認や仮予約は、インターネット「太宰府市公共施設予約」からできます。

2階



調査研究室

発掘調査で出土した遺物の図面制作、写真整理、調査報告書の作成等の業務を行っています。廊下から作業の様子を見学できるようになっています。



整 理 室

発掘調査で出土した土器や陶磁器、瓦の洗浄作業、復元作業を行う部屋です。出土した遺物の多くは破片になっているため、この部屋で洗浄、結合を行います。



保存科学室

発掘調査で出土した鉄・銅などの金属製品や、木製品、紙、骨など科学的措置が必要な遺物を、専門機器や薬品を用いて行っています。



収 蔵 庫

市内の発掘調査で出土した土器や木製品などの遺物を収蔵する目的の部屋です。

ほかにも、一部民俗資料を収蔵しています。

屋上展望台

屋上からは、国の特別史跡である「水城跡」や「大野城」など自然の地形を活かした古代太宰府のダイナミックな景観を臨むことができます。



▲屋上からの景観